

さが福祉サービス評価結果

※すべての評価細目（45 項目）について、判断基準（a・b・c の 3 段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>理念、基本方針について職員への周知はできており、保護者へは入園時に説明しているものの、より周知がはかれるように、参観日やサマーキャンプ等保護者が来園する機会等にも説明するような取り組みに期待したい。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>独自の分析は毎月行っている。コスト分析、利用者の推移などは、毎月法人に報告している。ホームページ等活用し、地域の福祉計画の策定動向を見ながら、経営に生かしている。また、社会福祉事業全体の動向にも注視し、あらゆる機関と連携を深めて保育ニーズをベースに、経営環境や課題を把握し、経営に生かそうと努力している。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>経営状況や課題等は毎月法人役員に報告しており、様々な問題や課題については、法人役員はじめ、職員含めて周知され、課題解決・改善に向けての具体的な取り組みが行われている。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>3月末に全職員に理念や基本方針の実現に向けた取り組みが行われるよう、ビジョンを示している。経営及び保育内容を見直しと評価をし、中・長期的な有効な計画を立て、実践がなされている。</p>		
		第三者評価結果
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>中・長期計画を踏まえた上で、単年度の計画を園独自で作成しており、職員等が閲覧できるようにしている。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>事業計画作成については、職員は直接参画しておらず、職員の関心の高い部分のみを報告している。今後、職員が事業計画作成に参画できるような体制づくりに期待したい。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b・Ⓒ
<p><コメント></p> <p>事業計画は、保護者等に説明されていない。園長自身も今後は保護者に説明する機会を設けていきたいと話しており、今後の取り組みに期待したい。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>評価制度を採用している。職員の自己評価も行って、その後の評価、分析を面談の中で行っている。年2回、到達度判定審査が行われている。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>評価面談の際に、職員には評価表を渡しているが、具体的な改善点等については伝えていないので、各職員が振り返り、改善案、具体的対策を立案できるような取り組みに期待したい。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 有事の際の連絡網の明記、表示等を行っており、園長不在時権限委任等も文書化して明確に示している。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 園長は、法令遵守に関する研修や勉強会にも積極的に参加しており、その内容を職員に回覧で伝える等、周知に力を入れている。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
<コメント> 園長は、市の保育園、こども園、学校等の会議に積極的に参加し情報交換をしている。職員の質の向上にも意欲的で、自らも自己研鑽に励まれている。		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
<コメント> 月1回法人会議で、法人全体の経営課題や経営状況を把握するよう努めており、その把握した情報を元に、法人グループの一つである嬉野こども園での業務の向上、改善の必要性等考慮し、園長として指導力を発揮している。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 必要な福祉人材の確保・定着がすすみ、効果的な保育の提供を目指すことができている。また、新人が加わり活気がある体制で人材育成に励んでおり、各短大養成校等とも適切な関係性を保っている。		

		第三者評価結果
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>評価制度に加え、人事について職員へのアンケートを実施しており、そのアンケートの内容に関して検討、回答をしている。職員がそれぞれのスキルアップを図ることができる取組を行っている。</p>		
		第三者評価結果
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>勤務状況についてはデータ化されており、計画、実施状況を集計されている。園長、主任を中心に職員同士がコミュニケーションを取りやすい環境づくりに力をいれている。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>職員への目標等は示しているが、園として具体的な目標水準について示されていないので、今後の取り組みに期待したい。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>園が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に「期待する職員像」等明示しているが、基本方針や計画の中に、園が職員に必要とされる専門技術や専門資格を具体的に明示していないので、今後、基本方針や計画の中に、より具体的に明示されることを期待したい。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>専門資格等を一覧にして職員が確認できる場所に掲示している。昨年より、職員を増やしているので、研修機会を増やすことが出来ている。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・Ⓒ
<p><コメント></p> <p>実習生が持参する学校の資料に基づき、実習に対応しており、受入マニュアル作成について園独自では行っていないので、今後のマニュアル整備に期待したい。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>理念、基本方針や保育内容、財務、第三者評価結果等についてはホームページ上で開示しており、苦情、相談の体制や内容に基づき改善、対応状況も公開されている。</p> <p>一方、地域に向けて、理念や基本方針、事業所活動を記した印刷物等は配布しておらず、今後は地域への情報発信に関する取り組みに期待したい。</p>		

		第三者評価結果
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>法人内での監査や監査法人による監査等を毎年受け、指摘された部分は職員にも周知し、課題に対して、改善に努めている。園として、今後も改善の都度、継続的にレベルアップした経営・運営を図りたいとの意向を強くもっている。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>未就学児を招待し、親子教室を開いたり、出張で公民館イベントに参加している。園見学も受け入れている等、園や子どもの理解を得るために地域住民と子どもとの交流の機会を設けているものの、活用できる社会資源や地域の情報を収集、情報提供等は行っていないので、今後の取り組みに期待したい。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・ c
<p><コメント></p> <p>園長は、小・中学校との連絡協議会へは積極的に参加しており、中学生の職場体験の受入れ等を行っているが、コロナ禍でもあり、積極的には実施していない。ボランティア受入れや地域の学校教育等への協力に関する基本姿勢について文書化等はされていない。今後、ボランティア等の受入れに対する積極的な取り組みに期待したい。</p>		

Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>法人内での職員間の交流、研修等は積極的に行っており、嬉野市が行っている地域学校運営協議会等には参加しているものの、法人外との関わりは薄く、さらに福祉事務所・児童相談所等について、個々の子ども・保護者に対応できる社会資源を示したリスト等は作成しておらず、今後の積極的社会資源の活用をこども園の経営・運営に生かされるよう期待したい。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>地域における未就学児に対して教室・イベント等を実施したり、相談窓口も開いているものの、地域の福祉ニーズや生活課題の把握まで努めるような事は行っておらず、今後は、地域の社会資源等の活用を通じた地域ニーズの具体的な把握等の取り組みに期待したい。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>依頼があれば対応をしているが、地域に対しては、園側からの積極的な働き方は出来ておらず、園としても検討課題としているので、今後、園としてのノウハウを地域へ還元できるような積極的な取り組みに期待したい。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>園の理念、基本方針に従い、子どもの人権を尊重した保育を行うよう研修等を実施し、実践されているが、倫理綱領等の規定は策定していない。今後は、倫理綱領規定書等を策定し、職員が理解、実践できるような取り組みに期待したい。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>コンプライアンス（個人情報を含む）研修を、定期的実施しており、また保護者等に対してはプライバシー保護に関する書類を配布する等している。さらに子どもが利用するトイレ、シャワールームについては外部から見えないよう配慮された構造になっている。加えてプライバシー保護に関するマニュアル整備についても行っている。</p>		

Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>園に関する情報については、資料の提供は行っていないが、ホームページ・インスタ等で公開をしている。さらにホームページ等で積極的な園見学を推奨し、希望者には丁寧に説明をしている。</p> <p>一方、園の資料等については、公共施設等の多くの人が入手できる場所には置くようにはしておらず、今後はより幅広く情報提供を行うような取り組みに期待したい。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>保育の開始及び保育内容の変更時の説明については、重要事項説明書に基づき、丁寧に説明を行うことを心掛けており、保護者等が正しく理解した上で自己決定できるように取り組んでいる。</p> <p>一方、保育内容の変更時には保護者の同意は得るようにしているものの、同意書まではとっていないので、今後は同意書等書面を残すような取り組みが望まれる。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>転園時や卒園時における引継ぎ書類については、園で使用している指導要綱録を渡している。また、卒園後も保護者に対して相談できる体制をとっており、卒園児にその内容を記した文書を保護者へ渡している。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>利用者満足等の把握については、年に2回保護者面談やアンケート等で行っており、課題等があれば改善に向けて取り組むようにしている。</p> <p>一方、こうした調査結果を組織的に分析・検討するような部署はなく、今後は園として検討会議の設置等の取り組みが望まれる。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>日々の保護者等からの意見については、送迎などの際のやり取りの中で解決できることは行っている。園としては独自の苦情解決の仕組みを作っており、その内容を全職員が共通に認識しできる体制がとられている。</p>		

35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・ ② ・c
<p><コメント></p> <p>保護者に対しては、相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等、環境づくりには力を入れられているものの、専門的な相談、あるいは直接相談しにくい内容等、複数の相談方法や相手を用意している事の明示については、文書等がなく今後の取り組みに期待したい。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	① ・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者からの相談、要望については、職員会議で検討した上で、ホームページや連絡メールで返答し保育計画等の変更を行っている。相談や要望を受けた際の対応マニュアル文書等確認出来、対応マニュアルについては定期的な見直しも行っている。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・ ② ・c
<p><コメント></p> <p>園内の体育用具や遊具等について、各担当を割り振り定期的に安全チェックを行い、外庭、建物なども危険箇所も把握して、危険なところがあればその都度対処しているものの、園としてリスクマネジメントに関する委員会等は設けていない。今後は園内でリスクマネジメント委員会を設置する等ガイドラインの体制整備を期待したい。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	① ・b・c
<p><コメント></p> <p>園内で流行中の疾病がある場合は、保護者にメールで注意喚起の情報提供等を行っており、法人内のグループ園においても感染について情報交換が行われ、職員にも周知するような体制をとっている。園には看護師は在籍していないため、嘱託医等医療機関に助言ももらっている。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・ ② ・c
<p><コメント></p> <p>定期的に火災、防犯の避難訓練を行っており、保護者にも園だより等で周知している。さらに災害時の対応マニュアルも作成しているが、地元の行政や地域住民との連携については、あまり力をいれていないので、今後は様々な災害に対して地域住民等を巻き込んだ積極的な取り組みに期待したい。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	㉠・b・c
<p><コメント></p> <p>園独自のカリキュラムに従って、理念や基本方針に基づきながら子どもの一人ひとりの発達状況に応じて園児が達成できるように各担当職員が目標を立てて実施している。主任が指導計画書に基づき確認、指導し、園長に報告される仕組みをとっている。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㉠・b・c
<p><コメント></p> <p>子ども一人ひとりに合わせた保育計画を作成し、実施している。また保護者からの意見、要望に対しては職員会議で変更、見直しを行う等の取り組みがなされている。保育の標準的な実施方法の検証、見直しについても、その都度会議を実施されており、園として必要な見直しを行うための仕組みが整備されている。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	㉠・b・c
<p><コメント></p> <p>園としてのアセスメント制度を導入しており、振り返りや評価に関して定期的に行っている。また、支援にあたっての関連機関との連絡について円滑にとれるような体制づくりをとっている。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・㉠・c
<p><コメント></p> <p>指導計画については、見直しによって変更した内容を関係職員に周知するようにし、さらには次の計画に活用できるようにしているものの、見直し時期については定期的というよりはその都度行っている状態であるので、今後は評価・見直しを行う時期の設定等への取り組みに期待したい。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	㉠・b・c
<p><コメント></p> <p>子どもの発達、生活状況等の記録については、園として共通した書式データにパソコンで管理され、職員間で共有できるようにしている。また、情報共有を目的とした会議の定期的な開催等も行うようにしている。</p>		

45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉠・b・c
<p><コメント> コンプライアンス研修（個人情報含む）を毎年行い、保護者等に対しても周知されている。園として個人情報保護規定や職員の就業規則を定めており、管理徹底に力を入れている。</p>		